

「Windows Vista の認証を柔軟かつ容易に拡張」 認証統合や認証アプリケーション開発を効率化 ～ Credential Provider Extender 発表 ～

有限会社 CO-CONV(取締役:丸山 伸 所在地:京都市左京区)は、Windows Vista の認証を柔軟かつ容易に拡張するための開発用ミドルウェア「Credential Provider Extender」を本日発表致します。

Windows Vista における生体認証デバイスの利用や LDAP 認証といった認証拡張の需要は大きいものの、Windows Vista の認証拡張の手順が Windows XP における手順と大きく異なることが調査・開発コストの増加を引き起こしていました。また今後開発するソフトウェアは、Windows Vista の複数の Edition に対応する必要があるのみならず、32bit 版と 64bit 版の両者に対応する必要があり、著しい開発コストの増大と保守性の低下を引き起こしていました。このミドルウェアを利用することで、認証拡張製品を開発する際に必要となる Credential Provider の複雑な仕様を隠蔽し Windows Vista の種別による相違点を全て吸収することで、一般的なアプリケーション開発と同程度に平易に認証拡張モジュールを開発できます。

● 詳細

「Credential Provider Extender」(CP Extender) はマイクロソフト社の最新 OS である Windows Vista のログオン認証などを拡張するためのミドルウェアです。

Windows Vista における認証拡張は、Windows XP におけるものから大幅に変更され、Credential Provider と呼ばれる機構に従い C++言語により認証モジュールを作成する必要がありますが、この開発には困難な点が多く存在し時間もかかるのが実情です。また、Windows Vista には “Ultimate”, “Enterprise”, “Business”, “Home Premium”, “Home Basic” といった複数の Edition が存在するだけでなく、32bit 版 / 64bit 版がそれぞれに存在することが、開発コスト・検証コスト・保守コストの増大を引き起こしていました⁽¹⁾。

CP Extender はこのような Windows Vista 各 Edition の相違点を吸収し、認証処理を行う部分を「認証モジュール」として分離独立して開発・検証できるようにします。また、Credential Provider としての挙動を設定ファイルの記述のみで変更できるように設計されているので、このミドルウェアを利用することにより簡単な設定ファイルを書くだけで認証モジュールの登録や変更を行えます。また認証モジュールは任意の開発言語で作成することが出来、さらには一般的なアプリケーションの作成と同様の手順にて開発とテストを行えるため、開発工数の削減と保守性の大幅な向上が見込めます。

今回発表する β 版は利用期間制限付きながら無償にて配布します。7 月発売予定の正式版は有償とし、開発ライセンス⁽²⁾は 1 製品毎に 50 万円、実行ライセンス⁽³⁾は 100 クライアント毎に 10 万円の予定です。

- 補足1: アプリケーションの開発においては 32bit/64bit の相違点を吸収する WOW64 という機構が存在しますが、Credential Provider の開発においては通常はそれぞれ個別に開発する必要があります。
- 補足2: 「開発ライセンス」は製品を開発する際に必要となるライセンス。開発しようとする 1 製品ごとに「1 開発ライセンス」が必要となります。開発ライセンスには 6 ヶ月間の無償保守が含まれ、製品開発を行う上で発生するサポートやバグフィクスを受けられます。その後のサポートには別途保守契約を必要とします。開発ライセンスのみでは、開発された製品を販売することはできません。
- 補足3: 「実行ライセンス」は開発されたアプリケーションを発売しクライアント上で実行する際に必要となるライセンスです。実行ライセンスのみでは開発を行うことはできません。実行ライセンスは 100 クライアント単位で発売しますが大規模案件における価格は別途ご相談に応じます。

● CP Extender の主なターゲット

● システムインテグレーターの方

LDAP や NIS などの認証サーバを利用した認証統合を、簡単な実行ファイルを作成するだけで実現できます。また、お客様のニーズにあわせて認証方式をカスタマイズすることが容易になります。

● 法人・大学などのシステム管理者の方

認証のカスタマイズを柔軟に行えるため、運用現場のニーズをそのまま実現することが容易になります。またログオン画面やロック画面のデザインを変更することができるため、社章や校章を入れ、見た目を変えることも容易にできます。

● 認証デバイス開発メーカーの方

生体認証や IC カードデバイスの Windows Vista 対応において必要となる特殊な処理や Windows Vista の Edition 間の相違点が包み隠されるため、開発コストや製品コスト、そして開発時間が削減できます。

● 製品詳細

製品名	Credential Provider Extender
対象OS	Windows Vista Ultimate / Home Basic 注)Windows Vista の他のエディションには順次対応予定
製品ホームページ	http://www.co-conv.jp/product/cpe/
販売数	今後1年間に 30 製品での利用を見込む

● 評価版ダウンロード

2007 年 8 月末まで利用できる評価版をホームページ上よりダウンロードできます。

<http://www.co-conv.jp/product/cpe/>

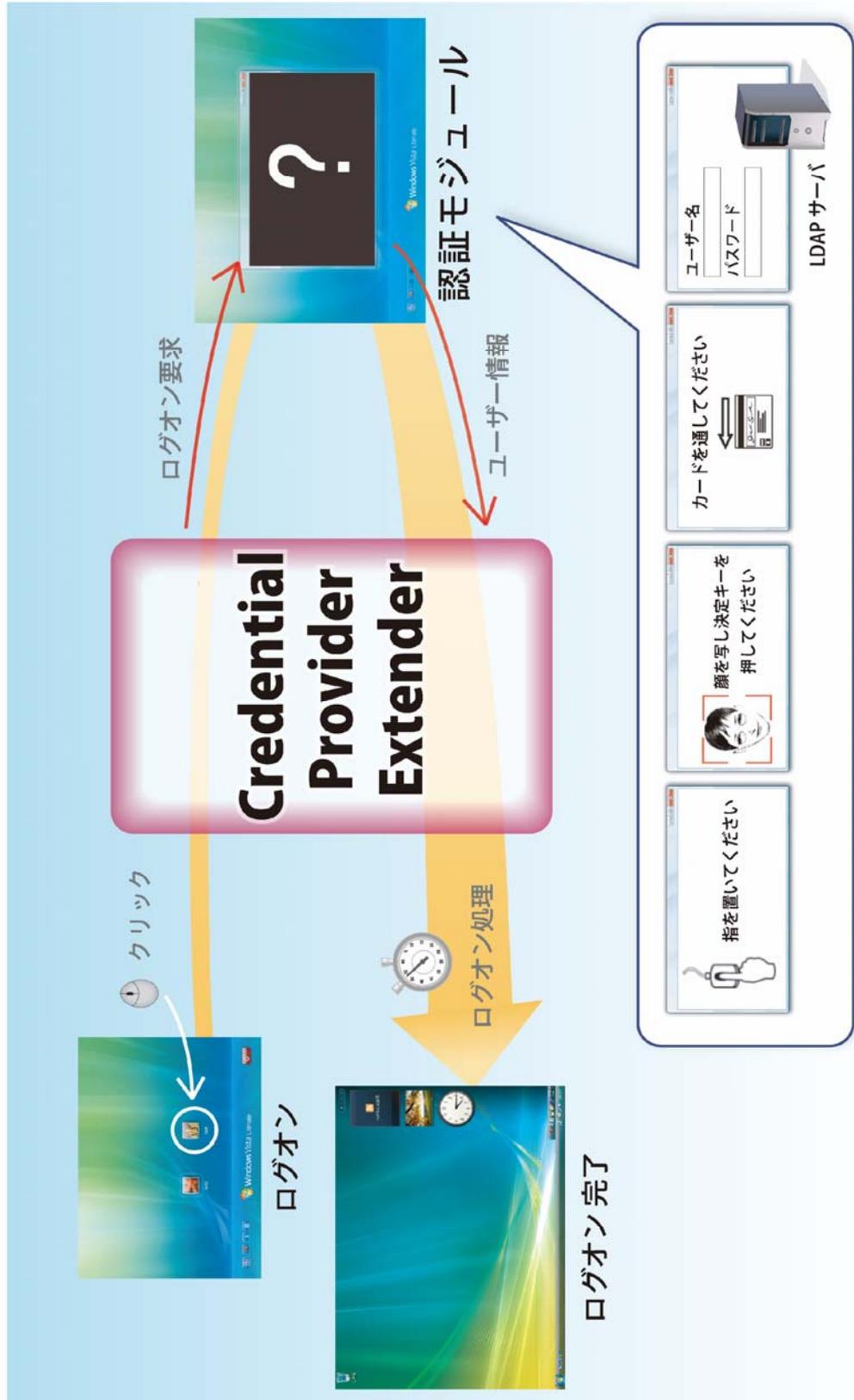
● お問い合わせ

本製品についてのお問い合わせ、認証の拡張やカスタマイズについてのご相談等は、以下にご連絡ください。

有限会社 CO-CONV (シー・オー・コンヴ) 担当: 丸山
〒606-8225 京都市左京区田中門前町 72 いのはらビル 2F
電話: 075-703-0740 Fax:075-703-0738
E-mail: info@co-conv.jp URL: <http://www.co-conv.jp/>

● ログオン処理の動作イメージ

Vista ログオン処理の流れ

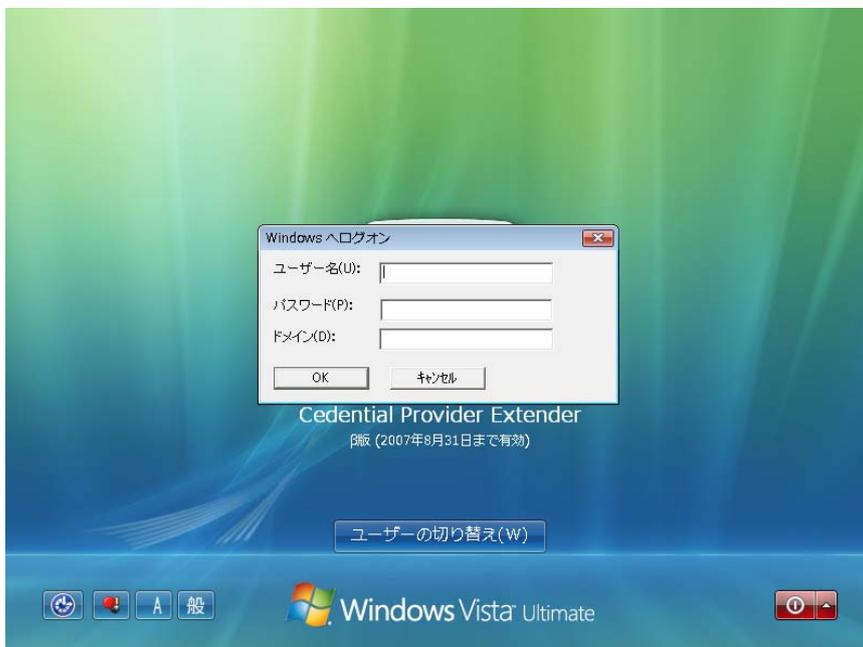


● ログオン画面

本製品をインストールすると、ログオン画面には標準のユーザー一覧のアイコンに加えて、【Credential Provider Extender】というアイコンが追加されます。



【Credential Provider Extender】をクリックすると、ログオン画面が表示されます。



このサンプルとして表示されているログオン画面はわずか 100 行ほどの C++ で記述されたシンプルな実行ファイルです。この実行ファイルを修正したり、別の実行ファイルに置き換えたりすることで、ログオン画面の見た目や認証方法を簡単にカスタマイズできます。